

みなさんこんにちは！ 新任医師の紹介をします



みはら たけなお
三原 丈直
46才

【担当科】耳鼻咽喉科
【出身大学】九州大学
【趣味・特技】登山(クライミング)
【自己PR】
耳鼻咽喉科常勤として赴任してまいりました。少しでも皆様のお役に立てばと存じております。どうぞよろしくお願ひ申し上げます！



いのうえ ともひさ
井上 知久
30才

【担当科】整形外科
【出身大学】九州大学
【趣味・特技】サッカー
【自己PR】はじめまして。整形外科の井上知久です。入局して5年目になります。主に外傷を中心に診療を行って参りました。大野理事長、吉富部長の元、精一杯整形外科を盛り上げていこうと思っています。運動不足なので、サッカー好きな方いましたら、誘っていただけると幸いです。

フィッシュ!!でいきいきとした職場作りを!

潤和会記念病院・看護部



外来・各病棟の食堂や詰所に季節の絵や写真、スタッフ紹介ボード等があるのをご存知ですか？
私たち看護部では、元気にいきいきと仕事をしたい、そして患者さんにも喜んでいただける癒しの環境づくりを目指し、フィッシュ活動に取り組んでいます。
フィッシュって？ そう、あのおさかなのフィッシュなのです。
発祥地は、米国西海岸シアトルの魚市場。早朝から深夜まで立ちっぱなし、魚を陳列する氷と格闘して腰も冷える、辛くて単調な魚市場の仕事を、やりがいのある職場に大変身させ、「仕事を楽しむ」ための「魚投げ」のパフォーマンスを始めました。これが全米で注目され、マスコミで話題になり、世界中からも人が集まり始め活気ある市場に変身したのがルーツです。その様子はビデオ化され本も出版され、アサヒビール・日本航空・マクドナルドなどの一般企業や組織で活用されるようになりました。

フィッシュ! 哲学の四つのマインドとは ~今日のあなたは、どちらを選ぶ?~

☆ 態度を選ぶ
仕事そのものを選ばなくても、どんな一日にするかは自分次第!



病棟での夏祭り
射的に、金魚すくい、しし舞いと、患者さんもスタッフも童心に帰って楽しみました。

☆ 仕事を楽しむ(遊ぶ)
楽しく、遊び心を持って、自由性を発揮する自然発生的な心の状態・行動

‘フレッシュ!!潤和隊’
おどり連を結成し、まつりみやざき総踊りに毎年50名程度で参加しています。



☆ 人を喜ばせる
患者さんや同僚に対してエネルギー溢る楽しい雰囲気と接しよう



看護部部署対抗ミニバレー大会
壮絶な戦いの中、ICUが優勝!
師長・主任
チームはこてんぱんにやられました…。

☆ 注意を向ける
人があなたを必要としている瞬間を逃がさぬよう、いつも気を配ろう



新入職者への各部署
手作りのウェルカムボード

職員一人ひとりがフィッシュ!マインドを持つことで、自分の仕事の価値を見出せたり、思いやりのある前向きな姿勢となり職場が元気に!そして看護サービスの向上につながります。

潤 うるおい

No. 52

2013年
4月1日発行



一般財団法人潤和リハビリテーション振興財団
潤和会記念病院

病院長 鶴田 和仁
〒880-2112 宮崎市大字小松1119番地
TEL0985-47-5555 FAX0985-47-8558
http://www.junwakai.com

進歩してきた医療環境の中で



副院長(内科) 中村 茂

ごく近い将来の日本人口構造の変化は急激で、量的なものだけでなく質的にも私たちに与える社会生活への影響は、経済問題とも絡まって深刻な状況にあるようです。行政による制度改革も対応に苦慮しているようです。

そのような社会変化の中で近年の技術進歩は、私たちの生活に劇的な変化をもたらし、医療においても別世界の話ではありません。そのひとつに情報の電子化に支えられた情報共有の効率化があります。情報の電子化は仕事の効率性を高め、行うべき内容密度を高め、提供する情報量と提供される情報量を高めるのに寄与しているのは、数値上で確認するだけでなく、感覚的にも実感できる昨今です。

しかしながらこのような効率性の良い進歩した技術を使うのはやはり私たち人間で、対象とする相手も人間でありその方々には家族もいます。そんな中で先日は家族の方々の暖かい援助に接する機会に恵まれました。呼吸の弱くなった方の呼吸補助に私や看護師でマスクをあてバッグで酸素を送りました。飛行機で一人で遠方から駆けつけられる小学生のお

孫さんと会うために息子様ともう一人のお孫さまも少しだけ手を添えられて面会することができました。元来の病気から残念ながら回復することはできませんでしたが、駆けつけたお孫さんや、35年間お世話を続けられた奥様や娘さん方の見守る中静かに旅立たれました。最近病院での最後では特に緊急治療などでは家族が遠ざけてしまうことが殆どですが、いろんな思いがそれぞれの方々に交錯したことでしょう。いいか悪いかは別にして最近の医療でひょっとしたら忘れられていたものを垣間見ることができたような気持ちになりました。

私たち医療を提供する者は自分達が相手にしているのは人間であることを常に念頭に置きながら患者様の治療やお世話を努力させていただいているところです。昨今の社会における医療や介護における事情は諸々の問題点を抱え、以前の手厚い制度からは離れる傾向にあるように見受けられますが、記念病院にかかわられる皆様方のご理解を得ながら、医療や介護を提供していければと思っています。

神経内科 診療実績

院長(神経内科) 鶴田 和仁

神経内科は鶴田と早稲田の二人で担っています。鶴田が院長職と兼務になったため病棟業務がフルにできなくなり、昨年度の診療体制は厳しい状況でしたが外来初診患者数は約600名、再来患者数は約4000名、入院患者数239名といずれも前年より微増になっています。少ない人数で何とか踏ん張っているという状況です。入院患者の内訳も神経疾患の全般にわたりまんべんなく分布しています(表参照)。この中で当院に多い脳血管疾患については脳神経外科、救急医グループに担ってもらっていますので神経内科としては症例数が少なくなっています。将来神経内科医が増えればもう少し分担出来るようになると思っています。

当院の特徴としては脳神経センターに脳磁計が入ったことによりてんかん診療が充実してきました。てんかんに関する脳磁図検査については他院からの紹介も増え、特に宮崎大学脳神経外科の術前術後の評価を行っております。また本年2月からてんかん患者の長時間ビデオ脳波モニタリングを始めました。色々試行錯誤が続いておりますが、この検査はてんかん診療に重要な意味がありますので今後も更に充実させていきたいと考えています。神経生理検査については臨床検査技師が4人体制で行っており他院にない充実した検査ラインナップとなっております。また従来から力を入れてきた睡眠医療についても睡眠ポリグラフ検査が年間206件、反復睡眠潜時検査(MSLT)が25件でした。本年度からは2ベッド体制になりましたので更に検査件数は伸びることが予想されます。また昨年秋から月に1回の症例検討を中心としたスリープカンファレンスを開催し、外部の医師や臨床検査技師の参加があり、宮崎の睡眠医療の底上げに尽力しております。本年度から初期研修医の当院での神経内科研修が実現し、秋頃からは若手の神経内科医が宮崎大学からローテーターとして派遣される予定です。それに伴って教育プログラムについても充実させていく必要があります。今後も当院が宮崎での神経内科医療を支える重要な拠点の一つとなるよう頑張っていきたいと考えています。

疾患	入院患者数
脳血管疾患	9
筋萎縮性側索硬化症	3
パーキンソン病	9
他のパーキンソン症候群(進行性核上性麻痺、大脳皮質基底核変性症など)	4
多系統萎縮症	3
脊髄小脳変性症	3
認知症	5
免疫関連性中枢神経疾患(多発性硬化症、脊髄炎など)	13
末梢神経障害(ギラン・バレー症候群、慢性炎症性脱髄性多発神経炎など)	14
筋疾患	1
重症筋無力症	3
神経感染症(脳炎、髄膜炎など)	1
てんかん	9
中毒性神経疾患	2
その他	17

記念病院 理念 「人間愛」

一 記念病院 基本方針 一

1. 患者様の人権と意思を尊重し、患者様の立場に立った医療の提供
2. 地域の中核的病院として、専門的且つ高度な医療を実践
3. チーム医療を推進し、より良い医療の希求
4. 豊かな人間性を備えた医療人の育成
5. 職員が意欲を持って働ける職場環境



患者の皆様の権利に関する宣言

当院では、患者の皆様の尊厳や人間性が尊重され、パートナーシップを強化し、以下の権利が守られることを宣言します。

1. 良質の医療を受ける権利
患者の皆様は、差別されることなく適切な医療を受ける権利を有します。
2. 選択の自由の権利
患者の皆様は、医師や病院或いは保健サービス施設を自由に選択し、変更することができます。また、いかなる段階においても別の医師の意見を求める権利を有します。
3. 自己決定権
患者の皆様は、自分自身に関わる自由な決定を行う権利を有し、それに必要な情報を得る権利を有します。
4. 意思に反する処置
患者の皆様は、意思に反する診断上の処置或いは治療は、原則的に行いません。
5. 情報に関する権利
患者の皆様は、医療上の自己の情報を得る権利を有します。また、知らされずにおく権利と自分に代わって自己の情報の提供を受ける人を選択する権利も有します。
6. 守秘に関する権利
診療の過程で得られた患者の皆様のご個人情報は、全て保護されます。
7. 尊厳を得る権利
患者の皆様は、いかなる状態にあっても人格的に扱われ、尊厳をもってその生を全うする権利を有します。

潤和会記念病院 院長 鶴田 和仁

あとかぎ 素人の城人

霞がたなびき桜のつぼみも大きく膨らみ始める季節となりました。私の中で桜といえば、以前旅で訪れた弘前城公園の桜が思い浮かびます。白い城壁と老松の緑が桜の花の色をより一層美しく引き立てていたのを覚えています。まわりのどこを見渡しても二千五百本の桜が公園中を埋め尽くしていました。有名な弘前城ですが、歴史学的にも非常に価値があります。美しさだけではなく、興味ある歴史を持つので、城好きな私にはたまりません。

時間があれば是非また訪れてみたい場所の一つです。弘前城に触れたついでに少しお城の話もさせて頂きます。現在日本に存在する城は、天守閣を持つもので70程度ですが、記録に残っている城の数は、天守閣を持たないものや部分的な城を含めると、25000以上もあつたとされています。数多く存在した城も江戸時代後期には200をきり、明治維新の廃城令や戦争、火災、天災によりその数は確実に減少しました。

現在天守閣を持つ70の城のうち、数々の困難な事態を乗り越え、江戸時代からその姿、形を変えずに現在も残っているのはたったの12城しかありません。その12城とは、丸岡城、犬山城、松本城、彦根城、松江城、備前松山城、丸亀城、姫路城、松山城、高知城、宇城、姫路城の4城だけで、残りの8城は国の重要文化財です。それでは「日本三名城」と呼ばれている大坂城、名古屋城、熊本城はどうでしょうか。実は天守に限って言えば国宝や国の重要文化財です。その理由は、この三城の天守は戦争や空襲によって消失されたためです。名古屋城、熊本城は外観のみを当時に近い形に復元されたものとして正式には認定されていません。一部推測で作られたものとして現存しているのは奇跡的もしくは言いがかりではありません。しかし、当然ながら天守の有無や、国宝、重要文化財かどうかなどに関係なく、歴史が存在したその場所は何事にも変えようのない素晴らしい価値があるものだと私は思います。形のあるものばかりが取り上げられ評価されがちですが、無い形のものにもロマンがあふれ想像をかきたてる要素が十分に備わっています。歴史の面白さは「未だ解明されていない部分が多い」に尽きると思います。